

全産業の中での死亡災害の二番目に多い発生原因は、交通事故です。

事故を0にすることは出来なくても、  
企業として発生を予防し、減少させることは可能です！！

今まさに安全完備の企業姿勢が問われています！！

来るべきISO → JIS規格制定前に

**「高視認性安全服」**  
を導入されることをお勧め致します。

●参考データ

厚生労働省HP 労働災害発生状況 参照  
(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/rousal-hassei/index.html>)

<業種別 事故の型別死亡災害発生状況>

平成21年 (確定値)	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突・おぼれ	巻き込まれ・はさまれ・切れこすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	道路	交通事故	その他	無理な動作・動作の反応	その他	分類不能	合計
全産業	289	28	9	57	67	74	150	4	0	33	10	20	14	9	1	18	238	9	0	36	9	1075
製造業	32	5	1	16	5	10	65	1	0	3	2	14	4	8	0	2	15	0	0	2	1	186
鉱業	7	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
建設業	147	9	3	21	41	26	40	1	0	10	5	2	8	0	1	8	39	5	0	3	2	371
交通運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	0	4	1	1	12
陸上貨物運送業	15	4	0	9	5	5	5	0	0	1	1	0	0	1	0	66	1	0	7	2	2	122
港湾荷役業	5	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
林業	13	2	0	8	3	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	43
その他の事業	70	8	5	3	12	19	33	2	0	18	2	3	2	0	0	8	112	3	0	19	3	322

平成20年(確定値)

全産業	311	24	11	77	83	96	192	6	0	38	24	20	21	9	5	9	287	10	0	38	7	1268
製造業	40	5	6	26	20	19	83	0	0	2	11	6	5	7	2	2	16	0	0	9	1	260
鉱業	3	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
建設業	172	6	1	33	45	33	38	2	0	16	9	9	15	2	2	4	37	1	0	4	1	430
交通運輸業	3	2	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	14	2	0	2	0	0	29
陸上貨物運送業	16	1	1	7	5	6	18	1	0	0	0	0	0	0	1	82	0	0	9	1	1	148
港湾荷役業	2	0	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9
林業	9	1	0	6	6	16	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
その他の事業	66	9	3	3	6	19	42	1	0	18	4	4	1	0	1	2	137	7	0	14	4	341

<業種別 死亡災害発生状況>

(注1) 死亡災害報告より作成したもの(注2)「-」は減少を示す。

業種別死亡災害発生状況

	平成21年(1~12月) 確定値		平成20年(1~12月) 確定値		対20年比較		平成19年(1~12月) 確定値		対19年比較	
	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全産業	1,075	100.0	1,268	100.0	-193	-15.2	1,375	100.0	-282	-20.8
製造業	186	17.3	260	20.5	-74	-28.5	264	19.2	-78	-29.5
鉱業	9	0.8	8	0.6	1	12.5	13	0.9	-4	-30.8
建設業	371	34.5	430	33.9	-59	-13.7	461	33.5	-90	-19.5
交通運輸業	12	1.1	29	2.3	-17	-58.6	29	2.1	-17	-58.6
陸上貨物運送業	122	11.3	148	11.7	-26	-17.6	196	14.3	-74	-37.8
港湾荷役業	10	0.9	9	0.7	1	11.1	9	0.7	1	11.1
林業	43	4.0	43	3.4	0	0.0	50	3.6	-7	-14.0
その他の事業	322	30.0	341	26.9	-19	-5.6	335	24.4	-13	-3.9

<業種別 死傷災害発生状況>

(注1) 労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)より作成したもの。(注2)「-」は減少を示す。

平成21年における死傷災害発生状況(死亡災害及び4日以上死傷災害)

	平成21年(1~12月) 確定値		平成20年(1~12月) 確定値		対20年比較	
	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全産業	105,718	100.0	119,291	100.0	-13,573	-11.4
製造業	23,046	21.8	28,259	23.7	-5,213	-18.4
鉱業	345	0.3	362	0.3	-17	-4.7
建設業	21,465	20.3	24,382	20.4	-2,917	-12.0
交通運輸業	1,965	1.9	2,059	1.7	-94	-4.6
陸上貨物運送業	12,794	12.1	14,691	12.3	-1,897	-12.9
港湾荷役業	228	0.2	290	0.2	-62	-21.4
林業	2,128	2.0	2,073	1.7	55	2.7
その他の事業	43,747	41.4	47,175	39.5	-3,428	-7.8

高視認性  
安全服の  
ご提案

SAFTY

~減らない受傷事故に対して企業として何が提案できるのか。~

高視認性安全服を通じて企業姿勢をうちだす  
プロジェクトのご提案

一般社会における安全に対する意識の高まりは数々の事故等からも高まっており、  
今まさに企業として安全完備の企業姿勢が問われている時代をむかえています。  
とりわけ高視認性安全服(英語名:High visibility warning clothing)は  
ISO/TC94/SC13PG20471によってISO化が検討されており、日本でもこの流れを  
受け、日本防護服研究会によってJIS化が検討されています。



株式会社 スリーライク  
Three Like Co.,Ltd.

東京支店:110-0016 東京都台東区台東3-7-3 スリーライクビル  
TEL:03-5812-6960 FAX:03-5812-6961  
<http://www.threelike.co.jp/>



株式会社 スリーライク  
Three Like Co.,Ltd.